

## 第10回目のGIS News! です

毎日、真夏のような暑い日が続いておりますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。既に夏バテ気味になっている、なんて方いませんか?冷たいものでも飲みながらちょっと一息、GISNewsでも読んでリラックスしていきましょう!

## 今回の話題

さて、今回は衛星画像について簡単に触れさせていただきましたが、読者の方から、その衛星画像は何処から入手するの?価格はいくら位するの?といった質問をお受けしましたので、今回はそれらへの回答を中心に、話題を提供させていただきますと思います。

## 何処で販売してるの?

日本における衛星画像販売は、日本スペースイメージング株式会社、三菱商事株式会社、日本コンピュータグラフィック株式会社などが手がけており、前回紹介しましたIKONOSと呼ばれる衛星で撮影された画像を取り扱っているようです。

## 価格はいくら位なの?

1枚に収まる範囲は東西20km×南北50kmであり、(これを基準エリアと呼ぶそうです)。この範囲を超えた場合は、基準エリアの数だけ購入することになります。

例えば、デジタルオルソ・エキスパート画像(水平誤差±1m、地形図1/2500程度)を購入する場合、販売元が既に撮影を行ったカラー画像であれば1km<sup>2</sup>当たり30,000円程度だそうです。既存の画像が無く、新たに撮影を要する場合は120万円からの料金となるそうです。

これら以外にも様々なサービスがあり、位置精度が不要な場合は安く購入することができますし、反対に高額になれば詳細なデータを付与することも可能です。

また、NTTDATAでは新規撮影を、8km×8kmを64万円程度で予定しているようです。新規撮影に関しては、予算に見合った形で、購入していただくことが良いかと思えます。

### 参考

<http://www.spaceimaging.co.jp> (日本スペースイメージング株式会社)

## 今後の衛星画像市場

衛星画像の市場は活発化しており、NTTDATAでは今夏に販売を開始し、日立ソフトでは61cm解像度の衛星画像で今年度中に参入するとのことです。

今後は企業間の価格競争が見込まれ、従来よりも安く、より品質の良い画像提供が始まるものと思われれます。

## 次回のGIS News!

今回は6月11日発行予定です。よろしくおつき合い下さい!

## Geographic Information System

記事: 協同組合山形県地理情報センター 清野 発行日: 2001年5月28日